

# 平成25年度 長岡市三島郡工部 活動報告

部長 飯田 満

## 1 研究主題 「一人一人の思いを生かす造形教育」

### 2 研究の概要

- (1) 研修会、美術展運営、鑑賞会、各種審査会を通して会員相互の交流と資質向上に努め、教師自らの学びを授業に生かして、一人一人の思いを生かす造形教育を実践する。
- (2) 市美術センター、近代美術館等各種展覧会の自主鑑賞活動の推進と、各種美術文化施設を利用した効果的な教育活動を工夫する。
- (3) 中越教育美術展の運営及び審査に協力し、児童作品や審査員の審査・講評から学ぶ。
- (4) ともしび運動ポスター展、家庭でワクワクお手伝いポスターコンクール、長岡市農業祭児童絵画展などの審査に協力する。

### 3 研究の実際（「日時・会場」「内容」については、番号を合わせて下表にまとめた。）

- (1) 長岡市三島郡美術教育研究会総会（会員数80名、71名参加）
- (2) 第53回長岡市三島郡小中学生美術展（展示準備30名参加、展示作業28名参加、撤去作業23名参加）
- (3) 作品鑑賞会
- (4) 実技研修会（34名参加）
- (5) 授業研修会（兼市教育センター工部・美術授業公開講座）（24名参加）
- (6) 美術鑑賞会（18名参加）

	日時・会場	内 容
(1)	4月23日（火） 15：30～16：45 長岡市立馬高縄文館	・平成24年度会務報告、会計報告 ・役員の改選 ・平成25年度事業計画、会計予算の承認
(2)	7月6日（土）～7月10日（水） 10：00～17：00 最終日～15：00 長岡市美術センター（市立図書館2F）	・出品点数：平面1050点、立体143点、共同9点、計1202点 （昨年度：平面1041点、立体208点、共同6点、計1255点） ・一般入場者数3452名（昨年度：3240名）
(3)	7月7日（日） 14：00～14：30 長岡市美術センター（市立図書館2F）	・上記展覧会の市民一般向け作品鑑賞会 講師 四郎丸小・廣川沙織教諭、東北中・菊谷かおり教諭
(4)	8月9日（金） 13：15～16：45 長岡造形大学	・ガラス講座「キルンワーク」、ガラス講座「バーナーワーク」 講師 市民工房飯塚亜裕子様、柳沼斎子様
(5)	10月31日（木） 13:55～16:45 新潟大学教育学部附属長岡中学校	・題材名「話し合いながら見方を深めよう（1年）」 —対話しながら鑑賞する授業— 授業者 新潟大学教育学部附属長岡中学校巻口礼子教諭 授業支援者 新潟県立近代美術館学芸員宮下東子様 ・講 話 「美術作品の鑑賞について」 講師 新潟県立近代美術館学芸員宮下東子様
(6)	11月12日（火） 14:45～16:45 新潟県立近代美術館（県民ギャラリー）	・コレクション展の鑑賞（鑑賞に関する講義及び展示作品鑑賞） 講師 新潟県立近代美術館学芸員宮下東子様、佐藤久美子様 ・企画展「館長庵野秀明特撮博物館」の鑑賞

### 4 成果と課題

- (1) 小中学生美術展では、平面・立体・共同作品、計1202点の出品があり、入場者数も3452名を数えた。親子でゆっくりと鑑賞する姿が多く見られた。入り口での造形ワークショップも好評だった。市の事業でありながら無出品校が減らない。特に中学校からの出品数の増加が今後の課題である。
- (2) 実技研修会は、長岡造形大学の整った環境の中で実施した。専門的な知識技能を得ることができ、たいへん有意義でありかつ楽しかったという声が多く聞かれた。
- (3) 美術鑑賞会は、新潟県立近代美術館学芸員2名による対話型鑑賞についての実技研修を行った。その後展示作品の鑑賞体験をし、内容の濃い研修会となった。今後も近代美術館と連携を図り、会員の指導技術の向上に努めたい。
- (4) 授業研修会（兼市教育センター工部・美術授業公開講座）を開催した。授業支援員として新潟県立近代美術館学芸員を迎え、対話型鑑賞の方法を取り入れた授業実践を公開した。鑑賞授業の実際を研修することができ有意義であったという声があり、会員の指導技術の向上に資することができた。